

監査結果の公表(その3)

による予備監査を実施し、監査当日は、監査対象部署の長等から説明を受け、関係職員に対して質疑を行うことにより実施した。

◆監査の場所

茂原市役所
茂原市立美術館・郷土資料館

◆監査の期間

令和4年12月9日から令和5年2月20日まで

◆監査の結果

監査の結果、法令等に適合し、概ね適正に執行されていたが、一部検討が必要と認められる事項が見受けられた。

なお、複数の部署に共通する事項については【共通事項】に掲げ、各部署への個別事項については【部署別事項】に掲げた。

【共通事項】

全課共通

・本市における今後の財政運営は、様々な要因により一層厳しくなることが予想される。少子化や高齢化に対応するための経費、さらには懸

案の災害対策に係る経費等、様々な行政需要による財政負担の増加に加え、市民生活に密接に関連するごみの新最終処分場の建設や長生病院B棟の改築等、長生郡市広域市町村圏組合の大規模事業の実施に伴い負担金も大幅に増加することが見込まれている。このような状況を十分認識し、危機感を持つて事業の実施にあたり、経費の節減に努め、事業の見直しについても積極的に検討されたい。

・新型コロナウイルス感染症は、市民生活に大きな影響を与え、生活スタイルの変更も余儀なくされた。行政運営においても業務量の増加やコロナ対応のための業務手法の変更等大きな影響をもたらしている。ウイルスコロナ・ポストコロナを見据え、よりよき未来を市民とともに再構築していくため、職員各々が「業務が何のためであるか」を常に念頭におきながら、事務事業の着実な推進に努められたい。

・生涯学習施設については、より多くの人に利用してもらえるよう、時代や生活スタイルの変化を的確に捉え、利用状況や市民ニーズを把握しながら更なる利便性の向上に努められたい。また、従来の利用形態や規則等にとらわれないこともなく、場合によっては見直しも視野に柔軟な対応を図りながら利用率の向上についても鋭意取り組まれたい。

学校教育課、生涯学習課、美術館・郷土資料館共通

・ふるさと茂原については、関係部署と連携を図りながら統一した目的や考え方を体系的に整理された。また、子どもたちの意見等も取り入れながら効果的なカリキュラムを検討し、子どもたちの郷土を愛する心の育成に努められたい。

【部署別事項】

〈教育委員会〉

教育総務課

・奨学資金貸付制度については、利用状況を勘案したうえで企画政策課等関係部署と協

議しながら、いつまでに何をすべきか目標を設定し早期に今後の在り方を検討された。また、検討にあたっては、現在貸付を受けている方にも配慮されたい。

学校教育課、学校給食センター

・民間事業者への水泳指導業務委託については、先行実施した学校における事業効果と課題を整理し、十分な効果検証を行われたい。また、他校への事業展開にあたっては、水泳技術の向上、老朽化した施設の維持管理、受託業者の受入可能人数等、様々な角度から学校ごとに影響を勘案し、今後の方針を検討されたい。

・学校給食費の公会計化にあたっては、教員の業務負担の軽減、徴収業務の効率化など必要性を具体的に示しながら予算確保に努め、推進を図られたい。

生涯学習課

・生涯学習事業の実施にあたっては、各事業の目的を改めて認識したうえで具体的な成果指標を設定されたい。ま

令和4年度 定期監査(その3)を実施した結果(一部抜粋)を次のとおり公表します。

茂原市監査委員 風戸 博恭
茂原市監査委員 山田 広宣

◆監査の対象

・教育委員会
・本納支所



全文はこちら

◆監査の着眼点

各所管の財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理並びにその他の事務の執行が法令等に適合し、適正かつ正確に行われているか、最少の経費で最大の効果を挙げ、組織及び運営の合理化に努めているかに主眼を置き監査を実施した。

◆監査の実施内容

各部署から提出された定期監査資料について、補助職員

生涯学習施設共通
(公民館、美術館・郷土資料館、東部台文化会館、市民体育館)